

千林駅(京阪本線)②

千林から京街道に行く

太子橋今市駅(地下鉄谷町線・今里筋線)

「大阪あそ歩マップ集」
その2 No.064

京阪千林駅

①千林商店街

野崎街道沿いにできた商店街で、京阪千林駅から地下鉄千林大宮駅まで東西660メートルあります。両側には約220の店舗が並んでいます。天神橋筋や駒川と1、2を争うほどの活気のある商店街です。

②ダイエー1号店跡

駅前にあるドラッグストアが、ダイエーの1号店だったところです。日本で最初のスーパーマーケットといわれるダイエーは、昭和32年(1957)に当地で主婦の店ダイエー(ダイエー薬局)としてオープンしました。当時の薬局の価格競争の名残からか、いまも千林の薬局は安いといわれています。

③九軒長屋

昭和12年(1937)建築の豪華な造りの2階建て長屋です。玄関と台所が通りに面していて、台所の屋根は入母屋式です。2階の軒は箱軒で、大正期以降の長屋の特徴だそうです。右から2軒目の家は、長屋の風情を活かしたカフェになっています。



④旧千林集落

浄光寺付近には江戸時代に建てられた古い屋敷が残っており、趣のあるまち並みです。昭和30年(1955)ごろまでこのあたりに

は水利や農産物の運搬のため、井路川と呼ばれる水路がたくさん掘られており、小船が行き交っていました。家の基礎を高くしたり石垣を組んで高い所に住居や蔵を建てているのは、川があつた名残です。

⑤朝日地蔵

このあたりもいたるところに井路川が流れていました。ちょうどカーブのところに地蔵尊があつたので、鼻に權を当てて舟の方向を変えているうちに鼻が欠けてしまったとか、いたずらでだれかが權で叩いたとか、いろいろな説があります。歯痛に御利益があり、願いが叶ったらお礼にお酒をかけるそうです。鼻がなくなっているので、別名「鼻欠け地蔵」ともいわれています。

⑥京街道の碑

京街道は、大坂城京橋口(のちに高麗橋)を起点にして大坂から京都に通じる、古くからの主要な道路です。豊臣秀吉が文禄年間(1592~96)に淀川左岸の堤防を改修して堤防上に陸路を開きました。千林、森小路などは京街道を中心に栄えた集落です。

道標には京橋口からの距離が刻まれています。



⑦天然記念物大楠(寶龍寺)

樹齢800年といわれる大きな楠が4本あります。聖楠大龍尊神である白龍尊が棲むということで、ご神木として大切に保護されています。京街道からも大楠はよく見えたことでしょう。(お寺の境内に入ることはできません)

⑧京街道道標・説明板

道標には京橋口から5.4キロとあります。京街道をさらにここから北に進むと、守口宿、枚方宿に続きます

地下鉄太子橋今市駅

